

2024年(令和6年)7月14日(日曜日)

富士ニュース

被災した能登高を支援 富士宮高校会議所が義援金



募金箱活動をリードする皆さん(提供写真)

富士宮高校会議所は、1月から能登半島地震災害義援金の募金活動を続けており、6月までに集めた8万8218円をこのほど石川県立能登高校に寄付した。元日の能登半島地震を受けて、何か支援をしたいと募金活動を始めた。地域住民との交流会、各地でのボランティア、イベントへの参加・協力、毎週開催している将棋や折り紙の教室など、さまざまな活動の中で協力を呼び掛けた。

調べたところ、多くの生徒や家庭、教職員、関係者が被災し、学校施設にも被害があった能登高で、復旧・復興と教育活動への支援を求めていることが分かり、寄付先に決めた。能登高は、普通科と農業・水産・ビジネスが選択できる地域産業科があることから、同会議所のオリジナル堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」を送るような支援も可能でないかと考えたという。「被災地はまだまだ復興には程遠い」と募金活動を継続することになっている。

募金を被災地の高校生たちに届けたいと